

令和2年北海道森づくり研究成果発表会について

企画調整部普及グループ 主査（普及） 曳地 孝夫

令和2年5月14日（木）、北海道立道民活動センター「かでの2・7」（札幌市）において、令和2年北海道森づくり研究成果発表会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止することといたしました。

この発表会は森林整備や木材利用に関する研究成果、地域での技術の普及や活動事例の紹介などを通じて、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、道総研森林研究本部と北海道水産林務部との共催で毎年開催していたものです。

発表会では、口頭発表（発表：12分、質疑：3分）とポスター発表をそれぞれ行い、行政機関や国の研究機関からは、一般発表として口頭発表4課題、ポスター発表3課題の計7課題、森林研究本部（林業試験場・林産試験場）からは、3つのテーマ（①森林資源の循環利用のために～林業技術～、②森林資源の循環利用のために～木材利用技術～、③森の役割と森からの恵み）に沿って口頭発表11課題、ポスター発表17課題の計28課題、全体としては35課題の発表を行う予定でした。

ポスター発表会場では、各発表に関連して、研究で活用しているものや各種試作品等の展示、「コアタイム」では、これらの展示品やパソコンの動画等も参考にしながら、発表者と来場者による意見交換、また、全道で活躍する森林所有者や林業普及活動を紹介する写真展も同時に行う予定でした。

森林研究本部は、代替対応として、ホームページ、Facebookページを活用した「インターネット版令和2年北海道森づくり研究成果発表会」を実施することとしました。

ホームページでは、ポスター発表を予定していた35課題について、掲示する予定だったポスターの画像を公開します。新たに開設する発表会用Facebookページでは、口頭発表を予定していた全15課題について、1発表を1投稿記事として、口頭発表用スライドからFacebookページ公開用スライドに構成し直した画像を公開（期間限定：令和2年6月1日（月）～令和2年8月31日（月））することとしました。

そして、ホームページとFacebookページを相互にリンクさせ、より多くの皆様にご覧いただくことで、研究成果の普及と新たな研究ニーズの把握に繋がりたいと考えています。

なお、Facebookページのコメント機能により、簡易な双方向性コミュニケーションが行えますので、意見交換が可能になると考えています。

まず、本号では、一般発表と林業試験場のポスター発表の全20課題について紹介しますので、ぜひご一読ください。



森林研究本部では、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、北海道水産林務部と併催で北海道森づくり研究成果発表会の開催を予定（令和2年5月14日（木）/かでの2・7）しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止することといたしました。そのため、今回は会場で開催予定としていた課題（研究発表）をインターネット上で紹介することとし、ポスター発表をホームページで公開いたします。また、口頭発表についてはスライドをFacebookへ公開（一部課題はこのホームページでもスライドを公開）し、ご質問・ご質問にお答えいたします。皆様からの、ご意見・ご質問をお待ちしております。

